

◆『アジア・キリスト教・多元性』第12号をお届けいたします。

本研究雑誌は、「日本・アジアのキリスト教と宗教的多元性」研究会（略称、「アジアと多元性」研究会）の研究活動報告論文集として刊行され、本号で12号となりました。今回も、執筆いただいた方々はもちろん、ほかの研究会メンバーの方々、特に、編集担当者の全面的な協力によって、無事に刊行することができました。この場をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。なお、本研究論文集は創刊号より、基本的に電子ジャーナルとして刊行され——必要部数に限り、冊子体での刊行も行っていますが——、現在は、研究会のホームページにおいて公開されるとともに、2008年度からは、京都大学学術情報リポジトリにも、登録されています。ご関心のある方は、ご覧ください。

なお、4月の研究会では、例年通り12号の合評会を行います。いくつかの論文を取りあげ議論を行う予定ですが、具体的な日時や内容については、後日ご案内いたします。

◆2013年度の研究会の活動の詳細については、本号の「研究会の活動内容（2013年度）」あるいは研究会のホームページに記載された通りですが、例年通り、毎月一回、研究会メンバーによる研究発表会が実施されました。今年度も、統一テーマの設定は行いませんでしたが、無教会・内村鑑三といった日本キリスト教に関する研究やキリシタン研究など、いくつかの研究領域を中心に、研究発表が行われました。本研究会の研究成果を研究論集という形で出版することなどを目指して、さらに試行錯誤を行いながら——なかなか作業は前に進みませんが——、研究会活動を進めて行きたいと考えています。10号の「あとがき」では、「たとえば、キリシタン研究や無教会研究といったテーマを軸にして、共同研究に近い企画も可能かもしれません。研究会メンバーからの積極的な提案を期待しております」と書きましたが、他の案を含め、具体的な提案をお願いいたします。もちろん、統一テーマを設定する場合でも、研究会メンバーによるそれぞれの研究テーマに即した研究発表が活発になされることの重要性には変わりありません。

◆2013年度も、本研究会は、何人かの方々を新しいメンバーとして迎えることができました。今後も「日本・アジアのキリスト教と宗教的多元性」というテーマに関心のある方々を迎え、さらに活発な研究会にして行きたいと思います。現在の京都大学キリスト教学研究室での月一回の研究発表会と年度末の報告論集刊行という点については当面変更することは考えていませんが、2013年度は、研究会活動を安定的なものとし、さらには活動の幅を広げる——研究会メンバー以外の研究者を招いた講演会やシンポジウムの実施、あるいは共同のフィールド調査や研修会の企画など——ために、研究会組織について、いくつか変更を行いました。年会費や論文執筆料の設定と、それに伴う、研究会の規約の整備や事務局（庶務や会計）の設置などです。2014年度も、本研究雑誌のISSNの取得や預金口座を開設など、研究会組織の整備をさらに進める予定ですので、研究会の充実のため、ご協力をよろしく、お願いいたします。

◆今後とも、本研究会のために、各方面からのご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

2014年3月

研究会代表
芦名 定道

アジア・キリスト教・多元性

第 12 号

— 論文 —

- 海老名弾正の神道理解に関する類型論的分析 …………… 洪 伊 杓 (01)
- 宣教中後期 (1914-31) ムーディの伝道論と実践
—伝道師の給与問題を中心に— …………… 三 野 和 恵 (19)
- 明治期・内村鑑三における〈独立・自由・個〉の展開 (1) …………… 柴田真希都 (39)
- 宗教間対話の可能性—西田幾多郎の場所論を要石として— …… 高 橋 勝 幸 (59)

— 研究ノート —

- 東アジアのキリスト教とナショナリズム
—内村鑑三の非戦論との関連で— …………… 芦 名 定 道 (75)
- イグナチオの霊性と宗教の民衆化
—キリシタン時代における「民衆」と「個」— …………… 狭 間 芳 樹 (93)

— 書 評 —

- 岩野祐介著『無教会という教会—内村鑑三における「個人・信仰共同体・社会」』
…………… 渡 部 和 隆 (111)

— 調査報告 —

- 韓国の社会的な状況と民衆神学の可能性
—今日における民衆神学の意義とその有効性について— …… 方 俊 植 (119)
- あ と が き …………… (126)

2014年3月

現代キリスト教思想研究会

ASIA CHRISTIANITY DIVERSITY

XII

CONTENTS

Articles

- Typological Approach to discourse on Shintoism of *Ebina Danjo* HONG Yi Pyo (01)
- Campbell Moody's Mission Works in His Middle and Late Active Period (1914-31)
: Focusing on His View on Taiwanese Evangelists' Salaries Controversial MINO Kazue (19)
- Independence, Liberty and Individuality of *Uchimura Kanzo* in the Meiji Era
..... SHIBATA Makito (39)
- On Interreligious Dialogue: Utilizing *Nishida Kitaro's* 'Theory of Place'
as a Key to Opening New Possibilities TAKAHASHI Katsuyuki (59)

Notes

- Christianity in East Asia and Nationalism: *Uchimura* and his Pacifism
..... ASHINA Sadamichi (75)
- Ignacio de Loyola's Spirituality and Popularization of Religion in Christian Century
..... HAZAMA Yoshiki (93)

Book Review

- IWANO Yusuke, *Ecclesia as Mukyokai* 'The Individual, Religious Community, and Society
in the Thought of *Uchimura Kanzo*' WATANABE Kazutaka (111)

Research Report

- Possibility of *Minjung* Theology and Social Situations in Korea BAHNG Jun Sik (119)
- Postscript (126)

March, 2014

STUDY GROUP FOR MODERN CHRISTIAN THOUGHTS

Kyoto Japan